

全国大学書写書道教育学会 公開ラウンドテーブル

今の書写書道教育研究に求められているもの —新学習指導要領の今後の展開とこれからの時代を見据えて—

主催:全国大学書写書道教育学会
後援:鳥取県教育委員会,鳥取市教育委員会

AIの導入, インクルーシブ社会の進展等々, 学校教育を取り巻く環境が劇的に変化する今, 広く手書きの教育を研究対象とする書写書道教育研究には何が求められているのか。学校教育の今後10年の指針である新学習指導要領がスタートするこのタイミングで自由に議論します。

* 全体進行 松本仁志(広島大学)

テーブル1「運筆指導」 司会:清水文博(新潟大学),柳田さやか(東京芸術大学)

近年, 子どもの書き方(筆記具の運び方)の未熟さが指摘されるようになり, 国語科書写は, 字形指導中心のこれまでのあり方から「運筆指導」も重視するバランスのとれたあり方へとシフトしつつあります。テーブル1では, 「運筆指導」の充実のために, 書写書道教育研究が取り組むべきことは何かを自由に議論します。

テーブル2「文字文化」 司会:平田光彦(武庫川女子大学),草津祐介(都留文科大学)

広く「文字文化」という枠組みの中で書写書道教育の営みを捉え直そうというのが, 今回の学習指導要領改訂の要点の一つです。テーブル2では, 「文字文化」という概念が前面に出された背景や理由などを考えながら, 書写書道教育研究として「文字文化」の教育にどのようにアプローチすればよいかを自由に議論します。

テーブル3「育成すべき資質・能力」 司会:杉山勇人(鎌倉女子大学),本田容子(盛岡大学)

AIの導入に伴う社会の変化や学校教育を取り巻く環境の変化は, 書写書道教育のこれまでのあり方に安穩としていることを許さない勢いです。テーブル3では, これからの書写書道教育において「育成すべき資質・能力」とは何か, その措定や育成のために書写書道教育研究としてどのようにアプローチできるのかなどについて, 自由に議論します。

日時: 令和元年9月29日(日) 13:30~15:55

場所: 鳥取大学(〒680-8551 鳥取県鳥取市湖山町4-101)
地域学部5160(3440, 3430, 3420)講義室

プログラム:

13:00~13:30 受付

13:30~15:55 ラウンドテーブル

(1)趣旨説明 (2)各テーブルでの討議① (3)各テーブルでの討議② (4)まとめ

アクセス:

- JR山陰本線/「鳥取大学前駅」下車すぐ
- 日の丸バス/鳥取駅バスターミナル(5)番から乗車
 - ・鳥大線「大学前」下車すぐ
 - ・湖岸線、鹿野線「鳥商前」下車徒歩5分
- タクシー / 鳥取駅から約15分
鳥取空港から約5分、徒歩約20分

参加自由・無料

<内容に関するお問い合わせ>

企画・広報局: 松本 仁志
(広島大学大学院教育学研究科)
e-mail: hmatumo@hiroshima-u.ac.jp